

### 常任委員会 行政視察会

【文教厚生委員会】

期日 平成25年10月

21日～23日

場所 和歌山県田辺市・和歌山市・大阪府寝屋川市

内容 田辺市では、ひきこもり支援について視察しました。

ボランティア団体、保健所等と連携をとり、ひきこもり支援として「ひきこもり相談窓口」を設置し先進的に関り組んできており、できる限り早期に相談に繋げ、適切な機関で支援できる体制づくりがされ、また、「ひきこもり検討委員会」を設置することで、できるだけ早く多くの機関での協力・支援体制が整っており、組織づくり等参考になる事例でした。

和歌山市では、ICTを活用した教育について視察しました。

財政的に厳しい状況の中で限られた予算を効果的に活用するにはどうしたらいいか考え、単に物を入れるだけでなく「研究の視点を入れ、「ICTの活用」と「学力向上」に特化したシステムとしてタ

ブレットPCを導入。想像力、判断力、理解力にもICTは有効であると分かってきたことから、積極的に活用し、総合的な学力向上と教員の授業改善に成果が出ており、子どもたちにも好評で、参考になる事例でした。

寝屋川市では、駅前図書館窓口業務の民間委託について視察しました。

駅前再開発に伴い、駅前への図書館設置の要望があり、「生涯学習の中心となる図書館機能の充実」の観点から設置することになり、駅前の立地を活かすノウハウを持つ民間の業者を選定するため、プロポーザル方式を活用したもので、開放感のある席の配置、本屋のような新書のレイアウト法、ブックシャワー等、特徴的な運営により利用者が増加しているもので、本市の図書館でも検討すべき事項が多い事例でした。

【環境経済委員会】

期日 平成25年11月

6日～7日

場所 新潟県上越市・新発田市

内容 上越市では、「地域活

動支援事業」について説明を受けました。平成17年の合併に伴い13の旧町村区域に、平成21年に旧上越市に地域協議会を設置し、地域の課題解決や活力向上に向け、地域活動資金を28の地域自治体に配分し、住民の自発的・主体的な地域活動を推進するものです。

事業内容の理解不足や対象事業とならない事業が採択されるなど課題はあるものの、市民協働という点で非常に参考になるものでした。

新発田市では、「食の循環によるまちづくり」について説明を受けました。新発田市では食の循環による5つの施策として、産業の発展、県史と生きがいの増進、教育及び伝承、環境の保全、観光及び交流を掲げ、地域ブランドとして定着し、また、シティプロモーションとして成り立つよう努力しているとのことでした。

資源の再利用については本市においても鋭意努力しているところですが、更なる地域の活性化、市民生活の質を向上させるために参考になるものでした。

【都市建設委員会】

期日 平成25年8月

6日～8日

場所 長崎県大村市・佐賀県

内容 大村市では、「上駅通り地区市街地再開発事業」について視察しました。

上町通り地区は、長崎街道の宿場町として発展してきたが、郊外型の大型商業施設の進出が空き店舗の増加や居住者の高齢化を招いたことから、隣接地に新設する市営アパート・市民交流プラザと一体的な整備を行うことにより、街中の賑わいを取り戻すことを図ったものであります。

武雄市では、「指定管理者による図書館運営」について視察しました。

図書館の運営を民間に任せることにより、運営費の削減や開館時間の拡大を実現し、市民が利用しやすく、また来たくなるような図書館を実現できたこと、指定管理制度を積極的に推進した武雄市長から、熱い口調で直接説明をいただきました。

日田市では、「景観計画に基づいたまちづくり」について視察しました。

現地視察した豆田地区は、日田市の中心市街地でしたが、JR日田駅前へ商業の中心が移転したことが、家屋の取り壊しを誘発し、貴重な歴史的な街並みの崩壊を招いたことから、景観条例を制定し、市民・事業者・行政が一体となった景観の形成を進め、ピーク時には年間60万人もの観光客が訪れるまでになった。

### 議会を傍聴してみませんか 詳しくは、議会事務局へ

インターネットの場合は、「土浦市議会事務局」と入力して検索してください。「土浦市議会ホームページ」→「傍聴」で詳しくお知らせしております。

電話 029(826)1111  
内線 2277  
FAX 029(826)3379

### 議会報編集委員会

- 委員長 寺内 正 充
- 副委員長 井坂 昌 典
- 委員 柴塚 伊 毅
- 荒井 原 一郎
- 沼田 義 雄